

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調査

(1) 取組名	海と大地の資源を活用した産業創生モデル事業		
(2) 実施団体名	鹿児島県南さつま市	(3) 対象地域	鹿児島県南さつま市笠沙地区及び坊津地区
(4) 代表団体名	—	(5) 推薦団体名	—

(6)実施した取組の内容	<b>取組①</b>	海道八景めぐりツアー企画実証事業	
	実施主体	鹿児島県南さつま市	
	実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容:海道八景めぐりモニターツアーの実施</li> <li>・実施時期:11月(2泊3日)</li> <li>・実施場所:笠沙・坊津地域</li> <li>・対象者:大手旅行代理店</li> </ul> <p>・取組の目的:大手旅行代理店のツアー担当者を対象にしたモニターツアーを実施し、本市が景観ブランドとして全国に情報発信することとしている「南さつま海道八景」をめぐるツアーの企画提案書の募集を行うとともに、本市の潜在的な地域の魅力について検証する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容:海道八景めぐりモニターツアーの実施</li> <li>・実施時期:11月10日～12日(2泊3日)</li> <li>・実施場所:笠沙・坊津地域</li> <li>・対象者:九州圏内の大手旅行代理店のツアー担当者</li> </ul> <p>・取組の結果:5社7名とツアー担当者と官民一体となった「海と大地の資源を活用した産業創生モデル事業推進協議会」の事業推進アドバイザー3名が参加し、「南さつま海道八景とふれあい体験の旅」と題してモニターツアーを実施。その後、同協議会の委員等が加わり、意見交換会を実施し、感想などをいただいた。旅行商品の企画をする視点でアンケートを実施。後日、旅行商品企画提案書の提出。</p>
	<b>取組②</b>	南さつま周遊バス運行実験事業	
	実施主体	鹿児島県南さつま市	
実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容:南さつま周遊バスの試験的運行(27便運行) 利用者のニーズ把握(アンケート調査等)</li> <li>・実施時期:11月～1月の土・日</li> <li>・実施場所:市内3ルート</li> <li>・アンケートの対象者:バスツアー参加者</li> </ul> <p>・取組の目的:主要観光地を定期的に周遊する観光バスを実験的に運行し、観光バス利用者の需要の動向や本市の観光地に対する認知度及び魅力度等を検証する。また、観光地に対する観光客のニーズ把握による観光周遊ルートの開発・検討を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容:南さつま周遊バスの試験的運行(20便運行) 利用者のニーズ把握(アンケート調査等) 日帰りバスツアー2コース各8便(定員30名) 一泊二日コース4便(定員20名)</li> <li>・実施時期:10月～12月</li> <li>・実施場所:笠沙コース、坊津コース、一泊二日(笠沙・坊津)コース</li> <li>・アンケートの対象者:バスツアー参加者540名</li> </ul> <p>・取組の結果:鹿児島中央駅発着の日帰りバスツアーと2011年春の九州新幹線鹿児島ルート全線開業をにらみ福岡県博多駅発着でJRを利用したバスツアーの一泊二日コースを広告媒体・旅行エージェントを通じ募集した。短時間で完売し、日帰りバスツアー474名、一泊二日コース77名の参加。</p>	
<b>取組③</b>			
実施主体			
実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	

(7)実施体制	平成20年度の取組実施における体制・役割分担		取組の実施を踏まえた反省点	
	<p>・「海と大地の資源を活用した産業創生モデル事業推進協議会」を平成20年8月19日に設立。 下記団体等で構成し、事業に取り組む。</p> <p>・南さつま市・南さつま市観光協会・南さつま農業協同組合・南さつま市漁業振興連絡協議会・南さつまロマンの里づくりネットワーク会議・特定非営利活動法人エコ・リンク・アソシエーション・特定非営利活動法人NPO南さつま・特定非営利活動法人：プロジェクト南からの潮流・特定非営利活動法人まちづくり地域フォーラムかごしま探検の会・ボランティア団体やまびこ会・たんぼぼグループ</p> <p>〔事業推進アドバイザー〕</p> <p>・(社)鹿児島県観光連盟・(株)ティケイスクエア・鹿児島県南薩地域振興局</p> <p>・南さつま市企画政策部企画課(主担当:取組①、②) 地方の元気再生事業の事務局として、全体調整に関する業務を担当。</p> <p>・南さつま市企画政策部新産業創造室(主担当:取組①) 南さつま周遊バスの試験的運行、利用者のニーズ把握(アンケート調査等)に関する業務を担当。</p> <p>・南さつま市産業振興部商工観光課(主担当:取組②) 海道八景めぐりモニターツアーの実施、大手旅行代理店のツアー担当者を対象にしたモニターツアーに関する業務を担当。</p>		<p>・取組①官民のメンバーで構成された「海と大地の資源を活用した産業創生モデル事業推進協議会」で、企画全般を協議し、南さつま市企画政策部新産業創造室と一体となって取り組んだ。旅行エージェントについては、2泊3日と拘束期間が長いことや、前期商品の企画、仕入時期と重なり人繰りが難しく、参加者は5社7関連部署の7名に事業推進アドバイザー3名を加えた10名となった。また、九州観光推進機構にも参加依頼を行ったが、秋季の商品説明会と重なったために不参加となった。</p> <p>・取組②同協議会で、企画全般を協議し、南さつま市産業振興部商工観光課と一体となって取り組んだ。周遊バスの運行については、地元のバス会社に委託。観光客のニーズ把握(アンケート調査等)については、同協議会の構成団体であるNPOに委託した。11月～1月の土・日(27便)の運行予定だったが、同協議会で協議した結果、1月の気象条件などを勘案して10月～12月に実施し、当初計画になかった2011年春の九州新幹線鹿児島ルート全線開業をにらみ福岡県博多駅発着でJRを利用したバスツアーの一泊二日コースを実施し、県外からの観光客のニーズ把握も実現できた。</p> <p>・協議会事務局の南さつま市企画政策部企画課は、上記各取組の事務局機能に加え、関係者間の調整や広報など全体調整を担当し、報道機関・情報誌等の告知・広告是好評により完売したため、予定より掲載をできなかったが、取組内容、スケジュールともにほぼ計画通り実施することができた。</p>	
(8)取組により得られた成果	南さつま海道八景の認知度のアップ			
	H19		H20(当初予定していた目標)	
	-		観光入込客の5割が南さつま海道八景を認知	
	H20(実際に得られた成果)			
	<p>・アンケートの調査結果によると、「南さつま海道八景」を「知っていた」「名前だけは聞いたことがあった」と答えた人は、福岡県からの一泊二日コースは約12%、鹿児島市からの日帰りコースは約31%だったが、当該ツアーは短時間で完売し、キャンセル待ちの人もいるなど好評であり、10月～12月の間に合計20便で551名の参加を得た。更に新聞やチラシ等でツアー募集周知、ツアー実施の新聞記事等が掲載され、県内外に広く「南さつま海道八景」を認知させることができ、来年度も企画してほしいと数多くの人から意見があった。また、「南さつま海道八景」について「大変満足」「満足」と答えた人は、福岡県からの一泊二日コースは約95%、鹿児島市からの日帰りコースは約88%であり、今後口コミ等で波及効果が期待され、観光客が増える期待が高まった。</p> <p>・大手旅行代理店のツアー担当者から旅行商品企画提案書の提出。(4社)⇒うち、コース内に「南さつま海道八景」を取り込んだ企画提案書(4社)</p>			
	市内国道226号沿線の魅力ある周遊観光ルートの構築			
H19		H20(当初予定していた目標)		
-		観光入込客の7割が満足する周遊観光ルートの構築・検証		
H20(実際に得られた成果)				
<p>・アンケートの調査結果によると、今回のツアーの行程(時間配分や訪問場所の数など)は「大変満足」「満足」と答えた人は、福岡県からの一泊二日コースは約95%、鹿児島市からの日帰りコースは約94%であり、今後の観光資源としての市全体への波及効果に期待が持たれる。また、南さつま市が潜在的に有している自然景観、食、歴史・文化を旅行エージェントを介した観光振興に結びつけるには、ハード面においては景勝地での案内板の設置や休憩施設、トイレ、駐車場の整備などが挙げられ、ソフト面にパンフレット作成上の工夫や観光ガイド育成などが今後の課題となっている。また、旅行エージェントが商品企画する際の課題としては、宿泊施設のキャパシティの問題やショッピング施設の不足と同時に契約施設がないなど営業上のネックも今後の課題となっている。</p>				

<p>(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南さつま周遊バス運行実験事業は短時間での完売であり、アンケート調査で一定の評価を得たが、改善する点を検討し平成21年度から本格展開に向け計画。</li> <li>・大手旅行代理店から提出された旅行商品企画提案書の催行。</li> <li>・ツアー企画提案書においても個人型が主であり鹿児島市内や指宿観光のオプションプランとしての提案が多い。熊本からの団体旅行を提案した読売旅行の場合でも「食」の企画やガイドによる案内が必須条件となっている。</li> <li>・体験メニューについても、料金体系の見直しや一般客を対象にしたメニュー作りを検討する必要がある。</li> <li>・今後はこれらの課題に積極的に取り組んでいくとともに、旅行エージェント及びメディアを媒体にした県外向けの情報発信と県内からの観光客誘致のための情報発信を積極的に行う必要がある。</li> </ul>	
<p>(10)平成21年度以降の活動の見込み</p>	<p>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「海道八景」を撮る、描く、詠むスポット&amp;パーキング「とるば226」の整備(平成21年度～平成28年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>・素敵な景色を撮る、描く、詠むことが出来る場所(眺望スポット)の整備</li> <li>・安全にかつ円滑に駐車が行える駐車場の整備</li> <li>・案内、情報板の設置</li> <li>・眺望に配慮した樹高の低い草木の植栽</li> <li>・その他附帯施設の整備(トイレ、ポケットパーク、プロムナード、休憩所、展望施設、転落防止柵等)</li> </ul> </li> <li>2. 集客力を高める道の駅等の商業施設の整備(平成21年度～平成28年度)</li> <li>3. 国道226号沿線の回遊性の向上に係る取組み(平成21年度～平成28年度)</li> <li>4. 国道226号沿線の景観の創出・保全に係る取組み(平成21年度～平成28年度)</li> <li>5. 「海道八景」及び「とるば226」と連携したソフト事業の取組み(平成21年度～平成28年度)</li> </ol> <p>当初提案になし</p>	<p>今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「海道八景」を撮る、描く、詠むスポット&amp;パーキング「とるば226」の整備(平成21年度～平成28年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体: 南さつま市</li> <li>・素敵な景色を撮る、描く、詠むことが出来る場所(眺望スポット)の整備</li> <li>・安全にかつ円滑に駐車が行える駐車場の整備</li> <li>・案内、情報板の設置</li> <li>・眺望に配慮した樹高の低い草木の植栽</li> <li>・その他附帯施設の整備(トイレ、ポケットパーク、プロムナード、休憩所、展望施設、転落防止柵等)</li> </ul> <p>〔活用を希望する制度: 鹿児島県魅力ある観光地づくり事業、鹿児島県半島元気おこし事業等の助成金を活用予定〕</p> </li> <li>2. 集客力を高める道の駅等の商業施設の整備(平成21年度～平成28年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体: 南さつま市</li> </ul> <p>〔活用を希望する制度: 検討中〕</p> </li> <li>3. 国道226号沿線の回遊性の向上に係る取組み(平成21年度～平成28年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体: 南さつま市</li> </ul> <p>〔活用を希望する制度: 無し(自主財源によって実施予定)〕</p> </li> <li>4. 国道226号沿線の景観の創出・保全に係る取組み(平成21年度～平成28年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体: 南さつま市</li> </ul> <p>〔活用を希望する制度: 無し(自主財源によって実施予定)〕</p> </li> <li>5. 「海道八景」及び「とるば226」と連携したソフト事業の取組み(平成21年度～平成28年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体: 南さつま市</li> </ul> <p>〔活用を希望する制度: 無し(自主財源によって実施予定)〕</p> </li> <li>6. 旅行エージェントから提出された下記の企画提案書を本事業の新たな取り組みの基本として、今後ルートを検討したうえで、モニターツアーを実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体: 南さつま市、海と大地の資源を活用した産業創生モデル事業推進協議会</li> <li>・レイル&amp;レンタカーで行くまるごと薩摩 フリープラン 提案者: (株)日本旅行赤い風船九州事業部</li> <li>・絶景の「南さつま八景」と薩摩みどころ周遊・グルメの旅3日間 提案者: (株)読売旅行熊本営業所</li> <li>・薩摩半島一周、海のパワーを貰う旅 提案者: 九州旅客鉄道(株)鉄道事業本部</li> <li>・感動の南さつま!! カジキマグロ～秋太郎～に逢いに行こう 本格定置網漁体験ツアー 提案者: 九州産交ツーリズム(株)</li> </ul> <p>〔活用を希望する制度: 上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額1,000万円)〕</p> </li> </ol>

# 海と大地の資源を活用した産業創生モデル事業(鹿児島県南さつま地域)－鹿児島県南さつま市－

## ◆主な実施取組の内容◆

### 取組①: 海道八景めぐりツアー企画実証事業

実施主体: 鹿児島県南さつま市

実施内容・結果: 九州圏内の大手旅行代理店のツアー担当者や官民一体となった「海と大地の資源を活用した産業創生モデル事業推進協議会」の事業推進アドバイザーが参加し、「南さつま海道八景とふれあい体験の旅」と題して11月10日～12日(2泊3日)に南さつま市の笠沙・坊津地域でモニターツアーを実施。コースの検証を行うとともに参加者による意見交換会を実施。また、旅行商品の企画をする視点でアンケートを実施するとともにエージェントからの旅行商品企画提案書の提出。

### 取組②: 南さつま周遊バス運行実験事業

実施主体: 鹿児島県南さつま市

実施内容・結果: 鹿児島中央駅発着の日帰りバスツアー(笠沙コース、坊津コース)各8便(定員30名)と2011年春の九州新幹線鹿児島ルート全線開業をにらみ福岡県博多駅発着でJRを利用したバスツアーの一泊二日コース4便(定員20名)を広告媒体・旅行エージェントを通じ募集した。短時間で完売し、日帰りバスツアー474名、一泊二日コース77名の参加。



## ◆取組実施による成果・今後の展開◆

・南さつま市が潜在的に有している自然景観、食、歴史・文化を旅行エージェントを介した観光振興に結びつけるには、ハード面においては景勝地での案内板の設置や休憩施設、トイレ、駐車場の整備などが挙げられ、ソフト面にパンフレット作成上の工夫や観光ガイド育成などが今度の課題となっている。また、旅行エージェントが商品企画する際の課題としては、宿泊施設のキャパシティの問題やショッピング施設の不足と同時に契約施設がないなど営業上のネックも今後の課題となっている。しかしながら、アンケートの調査結果によると、「南さつま海道八景」について「大変満足」「満足」と答えた人は約92%であり、今後口コミ等で波及効果が期待され、観光客が増える期待が高まった。

・平成21年度は、旅行エージェントから提出された企画提案書を本事業の新たな取り組みの基本として、今後ルートを検討したうえで、本格的なモニターツアーを実施。